

学校図書館の有効活用を図
つていきたい。

妊産婦、乳幼児の 専用避難所について

一山議員

妊産婦は身体と精神の両
面で安静が求められます。
しかし、東日本大震災では
一般の避難所や帰宅困難者
向けのスペースで過ごして
いたと言われています。栄
養や衛生管理が行き届かず
出産時の異常や環境の変化
で子供が泣き止まなかった
り、ストレスで母乳が出な
くなることもあったと言わ
れています。

これまでの地域防災計画
には、災害時要援護者の中
に妊産婦や乳児が明確に位
置付けられていなかったと
した上で、計画に妊産婦や
乳児の項目を盛り込んでい
る自治体でも、具体的な対
策は取れていないと指摘さ
れています。

牟岐町の防災計画では災
害時要援護者の中に妊産婦

や乳児が位置付けられ、具
体的な対策が取られている
のか、また、専用避難所設
置への考えを伺います。

福井町長

昨年、災害時要援護者リ
ストを作成しましたが、妊
産婦、乳児は含まれていま
せん。別途把握はしていま
すが、自力で避難できない
人とはとらえています。

災害時に支援の必要な人
とは思っていますが、常日
頃から自助を心掛けていた
だくしかないと考えます。

福祉避難所としては老人
保健施設等があります。専
用避難所は今の段階では町
では対応できないと考えて
います。今後協議を重ね
る必要があると考えます。

自転車講習について

一山議員

交通違反をした自転車の
摘発件数は昨年過去最多と
なり、警察庁は必要があれ

ば法制化も検討すると言わ
れています。

事故を防ごうと、小中学
校、高校の児童生徒を対象
に交通安全教室を実施する
ところが増えており、自転
車運転免許証制度を実施し
ているところもあります。

免許証は子ども達に非常に
人気があり、取得しないと
運転が禁止されるわけでは
ないが、免許証の携帯を自
転車通学の条件にしている
中学校もあるようです。

児童生徒への自転車の交
通安全教育、実技講習はど



中学生の自転車通学

のようにされているのか。
受講した小中学生に免許証
や修了証を交付すれば安全
意識向上にならないか。町
民への安全教育の呼びかけ
をしてはどうでしょうか。

福井町長

海部郡交通安全教育推進
協議会が、一年を通じてい
ろんな講習会を実施してい
ます。交通事故の件数は減
少傾向にあるが、自転車と
歩行者の事故は10年で1・
5倍になっており、そのう

ち3分の2は自転車運転者

の違反によるものです。交
通ルールの周知徹底など、
効果的な安全教育が必要と
考えています。自転車の運
転免許については推進協議
会の中で話をしていきたい。

峯野教育長

各学校では学校安全年間
計画を作成し、それに基づ
き自転車の交通安全教育を
行っています。

小学校では、実践を通し
て正しい道路交通の方法を
身に付けさせることを狙い
に、信号機が仮設された運
動場で疑似体験をさせるこ
とによって、自転車の正し
い乗り方や基本的なマナー
などの実技講習を行います。
中学校では、学校安全の
日に教職員が自転車点検や
立明指導を行い、自転車の
模範走行の指導や交通ルー
ルの遵守の徹底を図ってい
ます。

免許証や修了証の交付に
ついては、交通安全意識の
高揚を図る手立てとして、
校長会等で提言したいと考
えています。